

みずほCustomer Desk Report 2022/06/10号(As of 2022/06/09)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	134.47 AUD/USD
TKY 9:00AM	134.43	1.0718	144.16	1.2542	0.7187
SYD-NY High	134.56	1.0774	144.16	1.2557	0.7193
SYD-NY Low	133.19	1.0612	142.36	1.2488	0.7094
NY 5:00 PM	134.37	1.0618	142.73	1.2497	0.7097

	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	32,272.79	▲ 638.11	日本2年債	▲0.0800%	0.0000%
NASDAQ	11,754.23	▲ 332.05	日本10年債	0.2500%	0.0100%
S&P	4,017.82	▲ 97.95	米国2年債	2.8144%	0.0385%
日経平均	28,246.53	12.24	米国5年債	3.0693%	0.0356%
TOPIX	1,969.05	▲ 0.93	米国10年債	3.0446%	0.0185%
シカゴ日経先物	27,970.00	▲ 180.00	独10年債	1.4315%	0.0795%
ロンドンFT	7,476.21	▲ 116.79	英10年債	2.3225%	0.0775%
DAX	14,198.80	▲ 247.19	豪10年債	3.5900%	0.0620%
ハンセン指数	21,869.05	▲ 145.54	USDJPY 1M Vol	12.23%	▲0.12%
上海総合	3,238.95	▲ 24.84	USDJPY 3M Vol	11.62%	▲0.06%
NY金	1,852.80	▲ 3.70	USDJPY 6M Vol	11.13%	▲0.04%
WTI	121.51	▲ 0.60	USDJPY 1M 25RR	0.35%	Yen Put Over
CRB指数	329.59	0.46	EURJPY 3M Vol	11.64%	0.15%
ドルインデックス	103.22	0.68	EURJPY 6M Vol	11.28%	0.18%

東京	東京時間のドル円は134.43レベルでオープン。前日の上昇の流れを引継いだ買いが先行し、一時134.56まで上昇するもその後伸び悩み。輸出企業の売りも持ち込まれ、ロスカットを巻き込みながら133.65まで下落する展開に。押し目買いにサポートされるもECB理事会を前にした様子見色に方向感はず、133.86レベルで海外時間へ。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、133.86レベルでオープン。欧州株安の中で円高方向の推移で始まり、昼前には133.19まで下落。しかし屋過ぎにECBの政策が発表されるとユーロが乱高下しその後売りに転じたことでドルが買われ、ドル円は133.71レベルでNYに渡った。(ロントールフリー 00531 444 179 神田)
ニューヨーク	133.71レベルでNYオープン。朝方は米金利上昇を受けてドル円は底堅く推移。その後、対ユーロのドル買いが波及したこともあり、再び134円台を回復。午後は米株の下げ幅拡大が目立つ中、リスクオフのドル買い優勢となり、ドル円はじりじりと上昇を続け、結局、134.37レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルはECB理事会前で1.07台前半で小動き。早朝に発表されたECB理事会の声明文ではAPP(資産購入プログラム)が予想通り7月1日で終了したほか、7月会合で25bpの利上げ予定を示したものの、一部では7月に50bpの利上げへの期待感もあったことからユーロ売りで反応し、1.0688まで下落。しかし、9月に25bp以上の利上げも示唆されたことが意識されると欧州債利回りの上昇とともにユーロも買いに転じ、1.0729レベルでNYオープン。朝方はオープン前からのユーロ買いが継続し1.0774まで上昇するが、その後はユーロ圏の景気鈍化が意識され、欧州債利回りの動向ではなく、欧州株の下げ幅拡大を眺めながらの売られる展開となる。1.0700を割り込むとストップロスを巻き込みながら1.0650近辺まで下落。午後はリスクオフのドル買いが強まり、ユーロドルも下値模索の展開。1.0612まで下値を更新し、結局1.0618レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 松木・鈴木

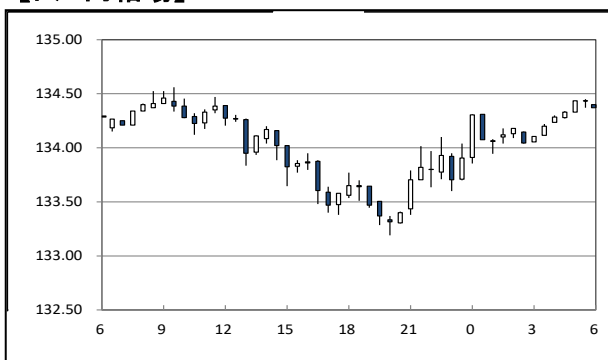
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
6月9日	12:00	中 貿易収支	5月 \$78.76B	\$57.7B
	12:00	中 輸出・輸入(前年比)	5月 16.9%/4.1%	8.0%/2.8%
	20:45	欧 ECB主要政策金利	9-Jun 0.00%	0.00%
	20:45	欧 ECB預金ファシリティ・レート	9-Jun -0.50%	-0.50%
	21:30	米 新規失業保険申請件数	4-Jun 229K	206K

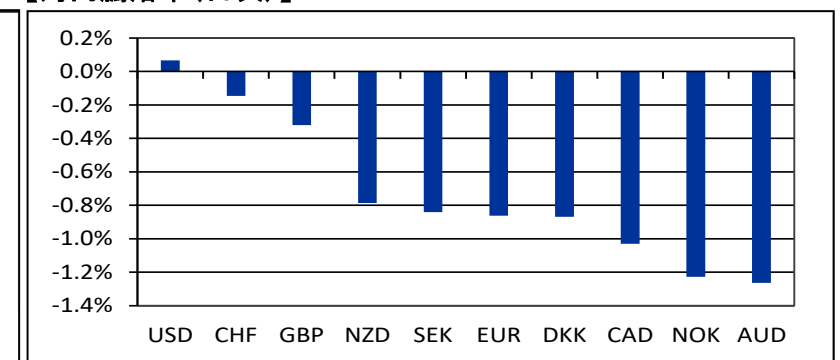
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
6月10日	10:30	中 CPI/PPI(前年比)	5月 2.2%/6.4%	2.1%/8.0%
	21:30	米 CPI(前月比/前年比)	5月 0.7%/8.3%	0.3%/8.3%
	23:00	米 ミシガン大学消費者マインド・速報	6月 58.1	58.4

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	133.00-135.50	1.0500-1.0700	141.00-143.50

【マーケット・インプレッション】

東京時間ドル円は、134.43レベルでオープン。前日の上昇を引き継ぎ、一時134.56をつけるも、その後は輸出企業の売り等もあり133円台半ば付近まで下落。海外時間に入り、欧州株安の中、133.19レベルまで値を下げる展開となった。その後、ECB理事会での政策発表後にはユーロが急伸する中、ユーロ円に連れ高となりドル円も133円台後半を回復。その後は利上げによるユーロ圏の景気後退懸念から対ユーロでドルが買われたこともありドル円は134円台まで戻すと、オープンとほぼ同水準の134.37レベルでクローズした。

本日のドル円は上昇する展開を予想する。

注目材料は米5月CPIの発表。インフレがピークアウトの兆しを見せなければ、来週に控えるFOMCを前に9月以降の利上げへの強力な後押し材料となる為、米金利とともにドル円も上昇すると予想する。ただ、インフレ鈍化懸念が高まった場合は、足元上昇が続いているドル円に大きな調整が入ることが予想され注意が必要。